

特定術式における手術開始前1時間以内の 予防的抗菌薬投与率

特定術式※における手術前1時間以内に抗菌薬投与が開始された割合を示しています。手術後、手術部位に感染が発生すると、入院期間の延長や入院医療費の増大につながります。感染を予防する対策の一つに手術前後の抗菌薬投与があります。手術開始から終了後2～3時間まで、血液や組織中の抗菌薬濃度を適切に保つことで感染を予防できる可能性が高まります。

※特定術式：冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術

【当院の活動】

手術を受ける入院患者様には全症例で予防抗菌薬の投与を行っています。長時間の手術では、3時間毎に追加投与を行うことで抗菌薬血中濃度を一定に保ち、感染予防に努めています。

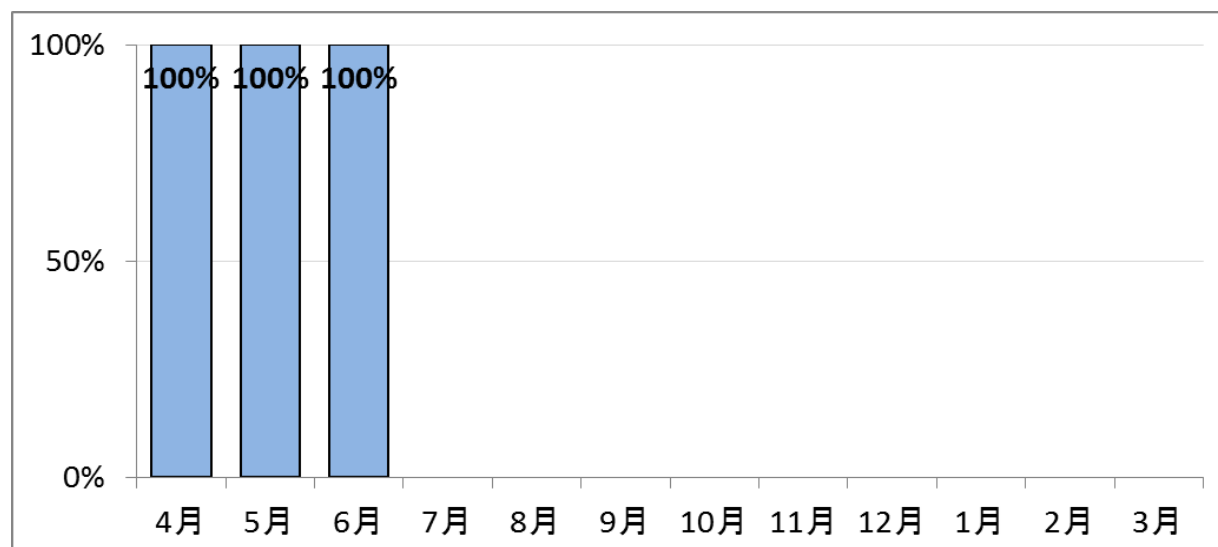
対象病棟： 一般病棟

計算式：
$$\frac{\text{分子) 手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された退院患者数}}{\text{分母) 特定術式の手術を受けた退院患者数}}$$

対象期間： 毎月

データ件数：

	2022年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分子	28	25	35									
分母	28	25	35									
投与率(%)	100%	100%	100%									



●年度別比較

データ件数:

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
分子	233	213	246	236	214	247
分母	233	213	246	236	214	247
投与率(%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%

